

## ●共助による除排雪活動を支援します ～共助による除排雪活動活性化事業費補助金の募集案内～

募集：平成29年7月3日から随時（毎月末に締切・選定。選定団体数が補助予定団体数に達した時点で締切）  
 対象：除排雪に関する地域課題を解決するため、平成29年度中（予定含む）に団体を設立し、支援活動に取り組む団体  
 補助金：補助上限額：10万円（10分の10）補助予定団体：10団体  
 問合せ：秋田県北NPO支援センターTEL:0186-49-3485（FAX共通）  
 HP： <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/11364>（秋田県生活環境部 県民生活課）

## ●平成29年度「コミュニティビジネス立ち上げ推進事業」再募集（※随時受付）

募集期限：10月末日及び12月末日（審査の結果採択された団体の補助金の額の合計が予算枠に達した時点で締切り）  
 対象：住民自らが担い手となってビジネス手法で地域課題の解決を目指すコミュニティビジネスの起業  
 補助金額：補助対象経費の1/2以内、80万円を限度（採択団体4団体程度）  
 問合せ：県北部 秋田県北NPO支援センター（大館市宇馬喰町48-1 北都市民活動サポートセンター内）電話 0186-49-8553  
 （全般）秋田県あきた未来創造部地域の元気創造課 地域協働推進班  
 秋田市山王4-1-1 /電話 018-860-1245 /FAX:018-860-3875 /mail: [chikatsu@pref.akita.lg.jp](mailto:chikatsu@pref.akita.lg.jp)  
 HP： <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/26073>（詳細と申し込み様式など）

## ●平成30年度 地球環境基金助成金募集

募集期間：11月13日～12月11日  
 対象：民間団体(NGO・NPO)が実施する環境保全活動(実践活動、知識の提供・普及、調査 研究等)に対し交付  
 助成金額：50～1,200万円/件（募集の種類が多いため、HPで詳細の確認が必要）  
 問合せ：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部地球環境基金課  
 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー8階  
 TEL:044-520-9505 /FAX:03-5572-1443 /044-520-2192 /mail:  
 HP： [http://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/h30\\_info.html](http://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/h30_info.html)（詳細と申し込みフォームなど）

## ●「全日本社会貢献団体機構」社会貢献活動支援のための助成

募集期間：11月13日～12月15日17:00必着  
 対象：子どもの健全育成または災害復旧支援に取り組む民間の非営利組織であること  
 （法人格の有無や種類は問わないが個人ではないこと）  
 対象経費：総事業費の80%以内の事業経費のみ（賃借料・人件費・水道光熱費・備品購入費などは対象外。物品や工事は20%以内）  
 助成金額：300万円/件  
 問合せ：全日本社会貢献団体機構 事務局（東京都新宿区市谷八幡町16 市ヶ谷見附ハイム103）  
 TEL:03-5227-1047 /FAX:03-5227-1049 /mail: [josei-jigyo@ajosc.org](mailto:josei-jigyo@ajosc.org)（平日10:15～17:30）  
 HP： <http://www.ajosc.org/subsidy/application.html>（詳細と申し込みフォームなど）

## ●平成29年度地域サポーター養成講座 知って納得！「LGBTアレコレ基礎講座」

〈日時〉12月16日(土)13:30～〈場所〉秋田県北部男女共同参画センター（入場無料・申込制・託児サービスあり）  
 〈講師〉真木柁鷹氏（性と人権ネットワークESTO代表）/柳田創氏（スクランブルエッグ代表）  
 〈問合せ〉秋田県北部男女共同参画センター TEL:0186-49-8552

その他の助成金等は、秋田県市民活動情報ネット: <http://www.akita-kenmin.jp/> もご確認下さい



もともととは、2007秋田わか杉団体のマスコットキャラクターとしてデビューしたスキッチは、秋田県職員という扱いで、引き続き県のマスコットキャラクターに採用され活躍した。現在小中学生である子どもたちにとっては、ものごころついた頃から身近な友だちのようなものだろう。引退にいたった経緯は想像いたくとして、大人の事情はときに子どもたちを置き去りにすることがあるけれど、人生は別れと出会いが常であり、それを繰り返すことでまた一歩成長してもいくのだ。別れや旅立ちの名言は数多いが、子どもたちのころの側に立つならば、かの有名なキャラクターのこのセリフがふさわしい。（五十嵐）

if there ever comes a day when we can't be together  
 一緒にいられない日がきても、ほくのことを忘れないで。ほくはずっときみの心の中にいるから  
 （くまのプーさん）

前後集記

## 秋田県北部市民活動サポートセンター

●編集・お問合せ先  
 〒017-0842 秋田県大館市宇馬喰町48-1 秋田県北部男女共同参画センター内  
 TEL:0186-49-8553 FAX:0186-49-8589



HP: <https://akita-north-civic-act.jimdo.com/>  
 Facebook: <https://www.facebook.com/akita.north.civic.act/>

●業務時間  
 月火水金（木曜定休）9:00-18:00 土日 17:00まで（年末年始は休業）

●発行元  
 秋田県 あきた未来創造部 地域の元気創造課



『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力しあえたらという想いが込められています

## さようなら、ありがとうスギッチ!

- 特集：第20回大館圏域産業祭—地域活力発見フェスタ
- 助成金・イベント情報など



秋田県を代表するマスコットキャラクターのスギッチ  
 「当地キャラクターの黎明期から活躍し、「ゆるキャラ王選手権」で優勝するまで」  
 全国に知られた秋田県の顔になりました  
 この十一月二十九日で約十年間の勤めを終え、退職することになりました。  
 2015年以降とともに活動してきた「んだすな」にバトンを託します



# 第20回大館圏域産業祭

# 地域活力発見フェスタ

10月21日(土)・22日(日)

身近にありながら、なかなか気づかれにくい、地域のさまざまな活動や助成金などがあります。自分に合った地域コミュニティや、イベントを発見して、地域の活性化にかかわるきっかけになれば「地域活力発見フェスタ」が開催されました。

## まちなかトープ

【住所】北秋田市松葉町6-34-4  
【営業時間】10:00~17:00  
【休業日】不定休

地元特産品の加工制作販売と並行して、地域拠点「トープカフェ」を運営し、ライブ開催をはじめとした市民交流の場を提供し続けている。



## くまさん自然農園

【住所】北秋田市前山字塚原61-2  
【営業時間】9:00~18:00  
【休業日】土日・祝祭日

放し飼いの養鶏の「卵油」づくりから、「無農薬農業」循環型農業を通じた地域振興をめざしている。



## マルシチフレッシュショップ

【住所】北秋田市脳神字平崎上岱1-15

自家栽培のハックルベリージャムや、育てた野菜の漬物、麴納豆など、地元素材を中心にした惣菜製造・仕出しを行っている。



## 雑貨屋HAL

【住所】北秋田市東横町1-25  
【営業時間】10:00~18:00  
【休業日】月・木曜日

布や革、木工によるハンドメイド作品を販売している。今回は県内外の委託作家による作品の展示販売や小物づくりの体験コーナーも開催。



## Kotoriusagi

【住所】鹿角市花輪字八正寺19-1  
【営業時間】11:00~19:00(日祝~18:00)  
【休業日】水曜定休、不定休

エチオピアの自立支援活動の一環として、原生林で自生した野生のコーヒー豆を直接輸入している。エネルギー風味を楽しめるカフェ。



## 古書やまもと

【住所】大館市下台野天下道下40-34  
【営業時間】10:00~18:00  
【休業日】火曜と月末の4日間

カフェを楽しみつつながら本探しができる古書店。読み聞かせなども行い、地域のコミュニティスペースとしても開かれている。



## アジアの仲間たち

代表の畑沢さんは、県のコミュニティビジネス開業助成金活用の第一号として、手作りソフオンケキ工房を立ち上げた。昨年、自宅一部を開放し、気軽に語り、笑い、元気になる場所「ふれあいの居場所・ぬぐだまる」を開設。「アジアの仲間たち」の一員として、マンマーマの子どもと女性支援活動も行っている。



## 黒糖マカダミアと厳選ナッツ・ドライフルーツ専門店 Wara no bag

【住所】能代市彩霞長根35  
【営業時間】10:00~18:00  
【休業日】水曜・木曜

看板商品は、沖縄県波照間島の純黒糖と相性抜群の黒糖マカダミア。他にも厳選したドライフルーツやナッツ類、自家焙煎した雑穀グラノーラもオススメ。



## NPO法人 ハートランドひまわり

【住所】大館市釈迦内下清水126-1  
【営業時間】9:00~15:00  
【休業日】月曜・日曜・祝日定休

心の問題や精神の障がいを持つ当事者と家族の会として発足し、今年度からは就労継続B型事業ワークスペースを開設。軽作業支援を行う「チョコレート作り」は、高齢者を中心に利用されている。



## 秋田パバの家

東日本大震災被害者支援として活動をはじめ、募金活動や手作り小物販売、チャリティーコンサートの収益から福島に義援金を送り続けてきた。支援の輪は広がり、今春は東京での活動も実現している。



## アミューズングサポート 『あ☆そ☆ぶ』

おもちゃコンサルタント・子育てサポーター・家庭教育支援サポーターの6名で、4月1日に結成し、癒やしの講座開催や、子育て親子を対象にした活動を行っている。今回は木のおもちゃで遊べる木育広場を設置。



## NPO法人 アートNPOゼロダテ

【住所】大館市宇大町9  
【営業時間】11:00~18:00  
【休業日】月曜・火曜

アートやデザインに特化したイベントや媒体で地域活性に貢献してきた活動へは、全国からの関心も高い。今回はグッズ販売で参加いただいた。



# ——出会いと発見の2日間



秋田県内で活躍する団体やコミュニティビジネス（CB）事業者を広く紹介し、新たな取り組みの裾野を広げる目的で、秋田県が主催、秋田県北NPO支援センターが実施主体となって取り組む「地域の元気発見フェスタ」。県北・中央・県南の3か所で開催される最初の開催地である県北では、10月21日（土）・22日（日）の2日間、大館市ニプロハチ公ドームの大館圏域産業祭特設イベントとして実施しました。

約170の企業・団体・団体・CB事業者が参加し、出展者の日頃の取り組みのPRや地域性あふれる商品の紹介や、沢山の来場者が興味深々で聞き入っていました。また秋田県の地域活性支援施策の紹介や、日本政策金融公庫の相談コーナー、木の遊びコーナーなどが設けられました。出展者の皆さんにとっても、「多くの方が取り組みに興味を持ってくれた」「新たなビジネスのつながりが生まれた」など、新たな活動のヒントをたくさん得た様子でした。

大館圏域産業祭での開催については、大館市・大館商工会議所のご理解と全面的な協力を頂いたことが成功の大きな要因でした。11月末で退職となるスギッチも会場に訪れ、新キャラクターんだっちとの貴重なコラボに子ども達も大喜び。また大館の新ヒーロー「コウライザー」もサプライズ登場し、力強いポーズで来場者に元気を与えていました。

この「地域の元気発見フェスタ」は、11月18日（土）に大仙市のイオンモール大曲、2月下旬には秋田市のイオンモール秋田でも開催されます。

是非会場に足を運んでいただき、沢山のブースの中から「自分にもできる、明日から出来る」秋田の元気創造の取り組みを探し考えるきっかけにしてみてはいかがでしょうか。（浅利）

## 一般社団法人 あきた地球環境会議

【住所】秋田市東北1-12-31

地球の温暖化防止や環境保全について、個人や地域のライフスタイルや環境教育から関心を高める活動を行っている。



## 日本政策金融公庫

民間金融機関の補完として、社会のニーズに対応した政策金融を実施している。特に地域活動の活性化について、起業やNPO活動で今回は、活用できる融資メニューや、資金運用相談コーナーを開設。



## NPO法人 工房JOYさあくる

【住所】大館市片山3-56  
【営業時間】平日 9:30~17:00(冬期は16:00)

障がい者の自立就労支援を行うことを目的としている。活動は多岐にわたるが、特に廃油からBDF(軽油代替)燃料を通じた環境を守る取り組みの評価は高い。今回は教育関連ブースで参加。



## 認定NPO法人 あきたスギッチファンド

あきたスギッチファンドは、市民活動の促進のために、県民・企業・行政など社会全体から寄付や資金を募り、地域課題解決に取り組むNPOやボランティア団体、地域組織などに活動資金を助成しています。



## 秋田県

コミュニティビジネス企業に活用できるじよせいきんじょうほ、NPO活動に関する相談コーナーを開設。スギッチ・んだっちも登場！



## NPO法人 秋田県北NPO支援センター

【住所】大館市中町5  
この「地域活力発見フェスタ」の企画運営を行いました。コミュニティビジネス起業・運営や、NPO活動・市民活動の支援や情報提供の場として活動しています。



## 共助による助排雪等支援事業

県の事業としてNPO支援センターが受託しています。過疎高齢化と核家族化で、助排雪をはじめとして、公共サービスだけでは対応できない高齢者などを、地域の共助活動で支援する取組を応援します。



## にこにご食堂プロジェクト実行委員会

あきたスギッチファンド採択事業としてスタート。子どもたちに地元食材のおいしさや食の大切さを伝え、健全な成長を支える活動を行ってきた。市民有志の協力による食材を提供するにこにご食堂を月一回開催している。

